

1コリント16：5-12

「主の御業に共に励む」

2/28/21

パウロは、異邦人への宣教のために主によって召された。使徒9：15、ローマ15：19、23、28

パウロの教える宣教についての大切な5つのポイント。

1. 「計画を立てる」 5、6a節

2コリント1：15-17

2. 「チームワークである」 6b節

1コリント3：6、ピリピ4：14-18

3. 「愛をよって働く」 7節

コリント教会訪問の理由：2コリント2：4

4. 「御心に服従する」 7b-9節

パウロの訪問計画。しかし彼は常に主の御心に従うことだけを考えて生きていた。

「主がお許しになるなら」

①主からの宣教の機会：「働きのための広い門が私のために開かれており」

使徒19：8、9

使徒19：10-20

②主への信頼の機会：「反対者も大ぜいいるから」

使徒19：9

使徒19：23-20：1

確かに宣教に困難はつきもの。しかし、困難のない働きなど存在しない。

●「困難によって学ぶこと」：

●「あなたが信仰ゆえに迫害される理由」：

2コリント4：10-11

☆心から御心に従いたいと願う者を、主は必ず御心を示し、導いてくださる。

使徒16：6-10

主の御心を知るために：

箴言3：5-6

5 心を尽くして【主】に抛り頼め。自分の悟りにたよるな。 6 あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

●「自分の悟りに頼るな」

●「主を認めよ」

詩篇37：5

あなたの道を【主】にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。

●「委ねよ」

●「信頼せよ」

5. 「一致して働く」 10-12節

①「テモテ」10-11節 「テモテとエラスト」使徒19：22

②「アポロ」12節 使徒18：24-28

結論：

●「各自が主の御心に従うこと」

我々の主権者は主なる神である。このお方の御心に従うことがあなたや私の責務である。それが主の栄光を現す唯一の手段。主を喜ばせる唯一の行き方である。

●「主の御業に共に励むこと」

主の御業にチームで取り組むことが主の御心。

遣わされる者、遣わす者。語る者、祈る者、支える者。共に主の栄光のために働く。